編集後記

日本では年間5万人以上の方が心臓外科手術を受け，その数は右肩上がりに増え続けています．また，早期リハビリテーション加算の対象が，開胸手術後の患者にも拡大されたこともあり，理学療法士が心臓外科手術後に理学療法を行えるチャンスが増えました．「心臓」というと，ひるんでしまう理学療法士も多いことと思いますが，社会が後押しをし理学療法士に期待しています．

まず金子論文では，心臓外科手術の進歩について詳細に説明していただきました．各手術の歴史的な変遷から最新の手術まで，図を多く取り入れながら概説いただき，大変わかりやすい論文となりました．金子氏が普段から実践している流行に左右されない患者のQOLを考えた丁寧な手術が垣間みえます．横井論文では，米国では心臓外科医が少なくなったとまでいわしめる冠動脈インターベンション治療の進歩について大規模研究を踏まえて詳しく説明していただきました．また，冠動脈インターベンションにおいて日本のリーディングホスピタルである小倉記念病院での心臓リハビリテーション導入プロセスについても紹介いただき，いわゆる「カテ屋」と揶揄される循環器内科医師とともに働く理学療法士にとっては強い支えになる必読の論文です．渡辺論文では，現在臨床でもっとも問題となっている高齢者や身体機能障害者に対する心臓外科手術後の理学療法について紹介いただきました．理学療法を行ううえでの実施上の注意点について，各種検査結果の値が意味することや早期離床の効果のメカニズムも紹介いただき，実に臨床的な力作と感じています．また，櫻田論文では重症心不全に対する左室補助人工心臓(LVAS)について，松尾論文では心臓移植について，具体的な症例を取り上げたり，症例の特徴を詳細にお示しいただきました．日本ではドナー不足の問題があり，今すぐ移植患者が増えることはないと思いますが，その現状について知っておくことは今後の理学療法にとって重要だと思われます．また，その一方で積極的な自己心機能の回復を目指したLVASの使用が増加していることから，櫻田氏の12症例の経験から導かれた論文は大変実践的な内容になっています．

講座「病態運動学―変形・拘縮とADL」は最終回で，小児疾患について症例紹介を通して具体的なアプローチや注意点が述べられており，実践的な内容になっています．さらに本号から，入門講座「ICFに基づく評価と記録」が始まりました．理学療法士は障害を診るスペシャリストです．この機会にじっくりとICFについて理解を深めて臨床に取り入れていきたいと思います．

「カテーテルの神様」と称され，「三万人の心臓を治した男（三輪書店）」で有名な小倉記念病院の延吉正清病院長は「下手な妥協は死に通ず」と言って弟子たちを指導していると伺います．また，中津医学校初代校長，大江雲澤は「醫不仁術　務欲為仁（医は不仁の術，務めて仁をなさんと欲す）」という医訓を残されました．つまり，医療は無条件に善なのではなく，悪にもなる．だからこそ医師は常に謙虚に患者のために尽くすべきである，ということです．医療の進歩を目の当たりにしている理学療法士にとっても，同じことがいえると思います．医療の進歩を敏に捉え，常に時代にあった理学療法を提供すること，そこには一寸たりとも妥協はなく，常に患者さんのために汗を流す理学療法士の姿があるはずです．

今回は心臓外科手術やカテーテル治療の進歩を踏まえて，理学療法の現状と今後の展望について概説していただきました．この号を機に循環器分野の理学療法の可能性がさらに広がることを楽しみにしています．

（高橋哲也）

理学療法ジャーナル

（第39巻 第9号）

2005年9月15日発行（毎月1回15日発行）

定価 1,785円（本体 1,700円＋税 5%）

〔2005年年ぎめ予約購読料　20,880円（配送料弊社負担）〕

E-mail：ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

発　行　株式会社　医学書院

代表者　金原　優

〒113-8719　東京都文京区本郷5-24-3

電話　本誌編集室直通(03)3817-5703

（担当：松田・山崎）

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座　00170-9-96693番

印刷所　三報社印刷㈱　☎(03)3637-0005

広告申込所　㈱医薬広告社　☎(03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2005, Printed in Japan

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は㈱医学書院が保有しています．

・JCLS ＜㈱日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています．複写される場合は，そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム（電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199）の許諾を得てください．

●編集顧問●

安藤徳彦　上田敏　大川弥生　五味重春　福屋靖子　横山巖

（五十音順，以下同じ）

●編集委員●

網本和　内山靖　高橋哲也　高橋正明　鶴見隆正　永冨史子　奈良勲　吉尾雅春

●編集同人●

伊藤俊一　伊橋光二　今川忠男　上田陽之　大橋ゆかり　大峯三郎　岡西哲夫　岡本慎哉　金谷さとみ　木山喬博　日下隆一　工藤俊輔　酒井桂太　佐々木伸一　佐藤秀一　澤田三津子　髙口光子　富樫誠二　冨田昌夫　長澤弘　仲貴子　中村春基　橋元隆　濱出茂治　備酒伸彦　福井勉　福田恵美子　二木淑子　星文彦　前田哲男　牧田光代　丸田和夫　丸山仁司　宮本省三　諸橋勇

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2005

2026/10/09 10:49:53